

# 質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします

令和6年11月26日

質問者氏名 杉森 弘之

牛久市議会議長 殿

質 問 形 式		一括方式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要 旨
1、ソーラーシェアリング（SS）と脱炭素先行地域	<p>(1) ソーラーシェアリング（SS、営農型太陽光発電）についての市の認識</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市内の設置状況 設置個所数、合計面積、種類（畑作・水田）、発電量（売上）</li><li>・牛久市における再生可能エネルギーの可能性についての市の見解</li><li>・千葉県のブルーベリー、山梨県のブドウ等に見るSSの可能性</li></ul> <p>(2) 脱炭素先行地域への選定と地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用についての市の認識</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・匝瑳モデル（畑作・水田営農型SSと高収益化、バイオマス資源の活用、農福・防災連携、SSアカデミー、地域新電力）</li><li>・牛久モデルの脱炭素化推進プロジェクトの可能性</li><li>・脱炭素・再エネの新庁舎</li><li>・グリーンファーム等で畑作営農型SS設置とバイオマス資源の活用</li><li>・燃やさない・排水を出さない「バイオマス資源化センター」</li><li>・スマートシティ・コミュニティの整備</li></ul>
2、医療と介護の連携	<p>(1) 高齢化と医療技術向上等による医療費の増加と医療機関の切迫状況</p> <p>(2) 病院や診療所、介護施設の連携の必要性和現状</p> <p>(3) 要介護5で在宅の場合の介護費用</p> <p>(4) 在宅での看取りと施設入所での看取りの状況</p>
3、たまり場	<p>(1) 地域コミュニティ活性化事業補助金（通称：たまり場補助金）の現状と、補助の要件は地域コミュニティの活性化に合致しているか、特に年間3分の2以上開放していること、つまり集会所を開けておくことは必要性があるのか、効果があるのか、一律化する必要があるのか</p> <p>(2) 現在たまり場を実施している35行政区以外の29行政区への対応は</p> <p>(3) 高齢化が進む中で、介護予防等の一定の目的性も検討すべきではないか</p> <p>(4) 一律の月額7万円の補助は適当か</p>